

ひびつの朝ごはん

徳島文理小 三年 平良 彩葉

「今日の朝食は、ママとくせいのチャールズでいい。」

というお母さんの声が聞こえました。運動会の朝のことです。

「いつものね。それがいいよ。」とわたしとお父さんで答えました。

わたしのお母さんは、いつもきまってるチャールズを朝ごはんに作ってくれる日があります。

徳島文理小学校

す。そのチャールズの中身は、カニかま、たまご、ねぎがきまってる入っているシンプルなものです。とくべつな物が入っていません。

運動会や音楽発表会などの行事がある日に作ってくれて、お母さんの「いつも通りがんばってね。」という気持ちがかめられています。

これは、わたしが幼稚園に通っている時にはじまりました。わたしは小さいころ、あまりごはんを食いませんでした。あまりに食べなくて、お父さんもお母さんもすごく心配し

ていたそうです。だから、朝ごはんも大して
食べないままようち園に行っていたそうです。
そんなわたしに大事な日には朝ごはんをおな
かーばい食べさせたくて、食べやすかったチ
ャーハンを作ってくれた様になったそうです。
だから、その日はたくさん食べていました。
運動会などで自分ではり切っていた事と、お
母さんの作ったおいしいチャーハンで食べよ
くが出たのかなあと思っています。朝ごはんもたく
さん食べれる様になった今でも、お母さんは

徳島文理小学校

大事な日にこのチャーハンを作ってくれます。
そのおかげで、元気モリモリ食べて、いつも
通りのがが出世していると思えます。お母さん
は、このチャーハンの事を「ひっ勝チャーハ
ン」とよんでいます。きんちようする自分に
負けない様にといい意味です。これからもお
母さんの作るこのひっ勝チャーハンを食べ
てかんばりたいです。

「お母さん、いつもありがとう。これからも
大事な日にチャーハンおねがいね。」